

# 究研教佛學大谷會

第十七卷 第四號  
大正五十一年二月發行

目次

禁慾主義と人間性

九分十二部教の研究(下)

カントの圖式性に就いて

新批判主義の社會哲學(フォルレンダー)

東西古匱金石展觀列品中の二三に就きて

西藏大藏經目錄

大正十五年度佛教學界總目錄(其三)

學會彙報

鈴木大拙

美濃晃順

稻葉秀賢

五十嵐信譯

石崎達二

櫻部文鏡

大谷佛教研究所研究會

## 佛教研究會々則

## 佛教研究會職員

- 第一條 本會ヲ佛教研究會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。
- 第二條 本會ハ佛教、哲學、及ビ人文ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。
- 第三條 本會ノ會員ハ大谷大學教職員、學生、及ビ本會ノ主旨ニ贊同スルモノヲ以テ組織ス。
- 第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。
- 一、隔月一回講演會ヲ開ク。
  - 二、毎年一回大會ヲ開ク。
  - 三、年四回雜誌「佛教研究」ヲ發行シ、之ヲ會員ニ頒ツ。
  - 四、隨時圖書ヲ出版ス。
- 第五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク。
- 一、會長 一名
  - 二、理事 一名
  - 三、評議員 若干名
  - 四、委員 若干名
- 第六條 會長ハ本會ヲ代表シ、評議員會ヲ總理ス。
- 第七條 理事ハ會長ヲ補佐ス。
- 第八條 會員ハ雜誌「佛教研究」ノ配布ヲウケ、隔月講演會並ニ大會ニ出席スルコトヲ得。
- 第九條 會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。
- 第十條 本則ハ評議員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スル事ヲ得ズ。
- 以上

會長 村上專精  
評議員（五十音順）  
阿部現亮 泉芳壇 浦川源吾 日下無倫  
理事 沼波政憲  
鈴木弘名烟應順 橋川正林 五邦

常任委員  
庶務擔當 同 鈴木芳環  
編纂擔當 日下無倫  
編纂擔當 林五郎  
會計擔當 佐々木秀英  
編纂委員 高西賢正  
同 武生讓  
同 同  
日暮京雄

五邦

## 編輯後記

- 遅れ勝ちに發行されて行く本誌を遺憾に思ひ、第四號は本年中に讀者諸氏にお手渡しせねばと編輯輪を轉じ、兎も角、こゝまでに漕ぎつけました。
- 前號の表題に於ける誤字、脱字は印刷所の手落もありましたが、偏へに編輯委員の不都合でした、執筆者諸氏に此處にお詫び申し、爾今以後印刷の整備を期します。
- 庶務擔當に鈴木弘氏が今度、新に加はることになりました。それは、大谷大學には、多くの學會が設けられ、各自特徴を發揮し發展して居りますが、其等の有機的な連絡なく、全てに於て勢力の亂費となつて居るのを遺憾として、その學會機關の根幹として「佛教研究會」が動く爲に、此處に庶務として入つていただくことに決つた次第です。各自、將來の發展に努力いたしませう。
- 次に、編輯委員として、余等四名、十六年度の第三號までつゞけることに決定しました。その後、新に研究科生より指定されることになります。せう。編輯に就ての苦言を賜らば幸と存じます。
- 最後に、新春を迎ふるに當り、讀者諸氏の健康を祝して筆を擱きます。(日暮)

年四回  
一四  
七月發行

### 佛教研究

會費一部  
年額金參圓

賣代金ハ隨宜申シ受ク

### 廣告料

一頁 金拾五圓、半頁 金拾圓

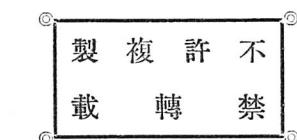
### 佛教研究第七卷第四號

大正十五年十二月二十日印刷  
大正十五年十二月廿五日發行

◎ 不許複製載

編輯者兼  
右代表者  
沼 波 政 憲

京都市壬生川通五條下ル  
藤 澤 淨 圓



印 刷 者  
沼 波 政 憲  
京都市壬生川通五條下ル  
藤 澤 淨 圓

印 刷 所  
大谷大學佛教研究會  
出 版 部

### 發行所

京都府市烏丸頭大谷大學内  
堀替  
穴坂  
四四九九七番

### 佛教研究會